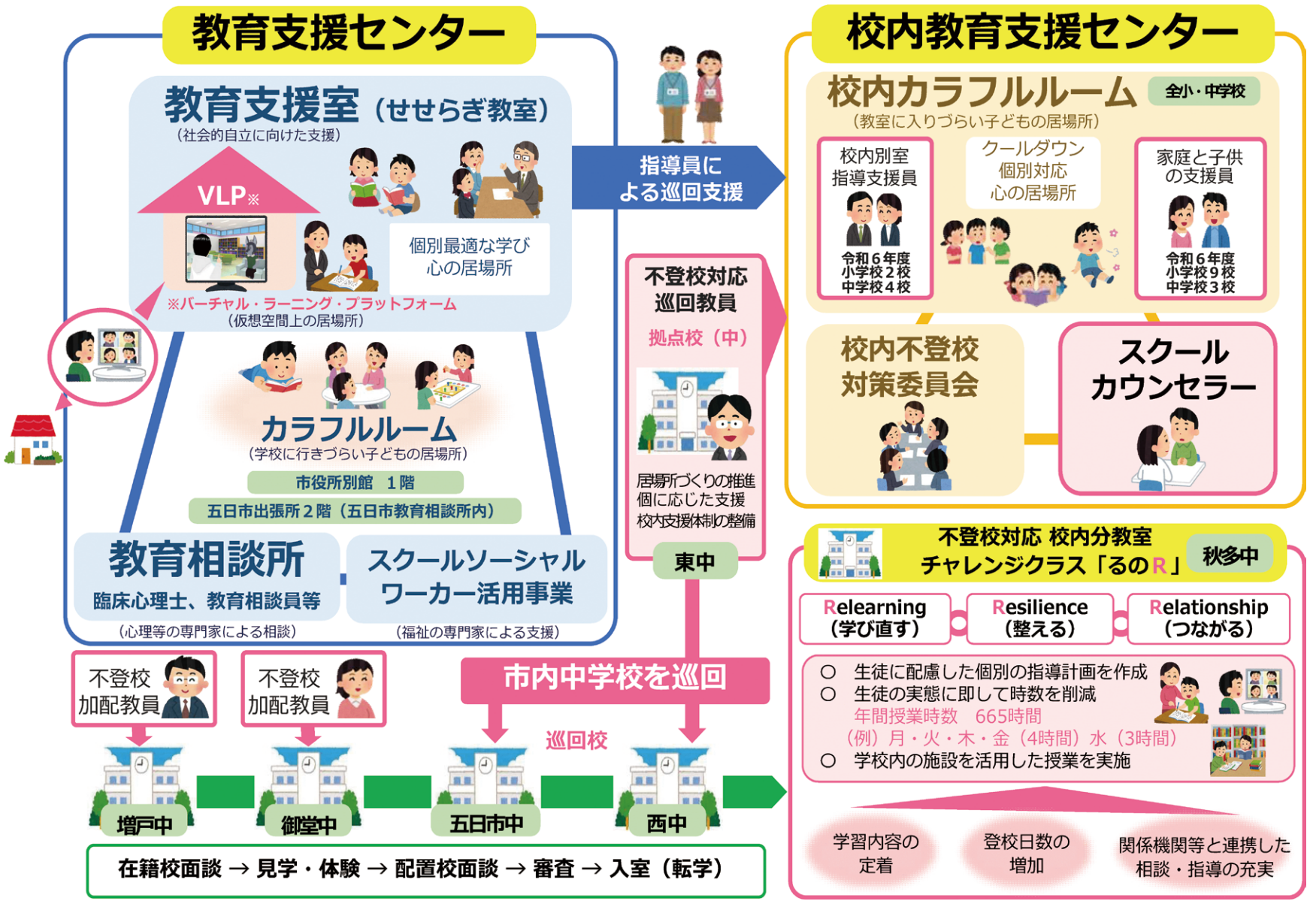
誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策



令和5年10月に文部科学省が公表した「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果によると、全国の小・中学校における不登校児童・生徒数は約29万人であり、過去最多となっています。本市においても、不登校児童・生徒数は増加傾向にあり、不登校対策は喫緊の課題と捉えています。

そこで、令和6年度は、これまで不登校対策として行ってきた施策に加えて、いくつかの新規事業を立ち上げ、上の図に示したように、市の不登校対策の全容が分かるよう可視化した絵図を、市内の各学校や関係機関と共有し、それぞれが連携しながら誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策の充実を図ることとしました。

チャレンジクラス「るのR」

あきる野市立秋多中学校内に、不登校対応校内分教室を開設しました。

本市では、通称「るのR」と呼んでいます。不登校による学び直し「Relearning」、生活リズムの改善「Resilience」、関係機関等とのつながり「Relationship」、これらの3つの「R」の実現を目指しています。

一人一人の生徒に配慮し作成した個別の指導計画を踏まえて、きめ細かな指導を行うとともに、不登校生徒が、安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある生活時程を実現し、実態に応じた支援を行っています。

秋多中学校以外に在籍している生徒が、るのRの利用を希望する場合、個別にお問い合わせください。

本市における不登校対策

教育支援センター

令和4年度に教育支援機能を再編して設置しました。せせらぎ教室、教育相談所、スクールソーシャルワーカー事業が、それぞれの機能をより強固なものとし、連携を図りながら児童・生徒や保護者への効果的な支援と相談体制の充実を図ります。

カラフルルーム

令和6年度から、市役所別館1階に加えて、五日市出張所内の五日市教育相談所にも拡充した不登校及び不登校傾向の児童・生徒の居場所です。

また、市内全小・中学校にも、教室に入りづらい子どもの居場所として、校内カラフルルームを設置しています。

不登校対応巡回教員の配置

中学校3校を巡回し、各学校の不登校対策の現状の把握・分析を行い、必要な助言や支援をしています。

不登校加配教員の配置

中学校2校に配置し、各学校の不登校対策委員会の中で、不登校児童・生徒の状況の共有や支援の方向性等の検討などを中心となって進めています。

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）

VLPは、不登校児童・生徒の居場所・学びの場として、メタバース空間により構築されたバーチャル空間です。一人一台タブレット等を通してアバターを操作し、コミュニケーションを取ることができます。

VLP上では、学習スペース・教室スペース等の区画や、プログラミングやAIドリルなどの学習コンテンツが利用できます。

利用を希望する場合は、個別にお問い合わせください。

問合せ　指導室指導係
内線（2924）